

【事業評価個票の見方について】

事業評価個票（事業実施：令和2年度）

（様式2）

事業名						活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
部局名							活動実績及び活動実績 (アウトプット) 事業の箇所数、件数、人数等の事業の活動内容を数値で定量的に説明できる指標を記入しています。	活動実績							
担当課名								当初見込み			年度ごとに記入しています。				
事業開始年度		事業終了(予定)年度						活動実績							
総合発展計画実施計画の位置付け	政策の柱、政策	対象事業に係る第4次山形県総合発展計画実施計画の政策の柱、政策、目標指標を記入しています。						成果指標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標(所管部局の分析)		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	施策						成果実績								
目標指標						目標値									
事業の目的	事業実施により実現しようとする状態(目指す姿)を記入しています。					達成度	%			年度ごとに記入しています。					
事業概要	事業の目的を達成する手段として、誰(何)を対象に、どのような手段・方法で事業を行うかなどについて記入しています。					成果実績	目標値								
							達成度	%							
							成果実績								
							目標値								
活動指標及び成果指標設定の考え方															
活動指標と成果指標を設定した考え方を記入しています。															
事業所管部局による評価・検証(令和3年7月)															
項目										評価		評価に関する説明			
事業の目的が県民や社会のニーズを的確に反映し、成果目標の明確な達成手段として位置づけられ、優先度の高い事業となっているか。また、市町村・民間等に委ねることができない事業なのか。												どのような根拠に基づきA・B・Cと評価したかについて具体的に記入しています。 A・B・Cの評価基準は以下のとおりです。 A：目標を上回る成果、活動見込を上回って達成(100%以上)。妥当。 B：概ね目標どおりの成果、活動見込を概ね達成(80~99%)。概ね妥当。 C：目標を下回る成果、活動見込を下回った(79%以下)。改善の余地あり。			
支出先の選定や受益者との負担関係は妥当であるか。															
事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。また、類似の事業がある場合、他部局等と適切な役割分担を行っているか。															
活動実績は見込みに見合ったものであるか。また、整備された施設や成果物などは十分に活用されているか。															
成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。															
課題・改善点															
各項目の評価を踏まえた課題のほか、事業の効果や効率化がどの程度進んでいるかなど、経年での変化や課題を踏まえた今後の改善方針などについて記入しています。															
事業開始年度		事業終了(予定)年度				事業の効率性									
当初予算額(単位:千円)	費目(予算見積書グループ名)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度		令和6年度	事業内の各グループの当初予算額を年度ごとに記入しています。							
財源内訳(単位:千円)	国庫支出金						課題・改善点								
	県債	財源内訳を年度ごとに記入しています。													
	その他特定財源														
	一般財源														
計		-	-	-	-	-									

(評価基準)
 A:目標を上回る成果、活動見込を上回って達成(100%以上)/B:概ね目標どおりの成果、活動見込を概ね達成(80~99%)/C:目標を下回る成果、活動見込を下回った(79%以下)